

平成 24 年の機械貿易動向について

1. 全商品貿易動向～輸出は 2 年連続でマイナス、貿易収支は過去最大の赤字～

平成 24 年(1-12 月)の全商品輸出額は、歴史的な円高、欧州経済の低迷、新興国経済の減速などから、対前年比(以下同じ)2.7%減の 63 兆 7,476 億円と 2 年連続でマイナスとなった(平成 23 年 2.7%減)。これは、全商品輸出額の約 24%を占める自動車等輸送用機器(6.8%増)が増加したものの、約 20%の原動機等一般機械(7.0%減)、約 13%の鉄鋼等原料別製品(3.9%減)、約 10%の化学製品(6.4%減)が減少したことによる。

一方、全商品輸入額は、3.8%増の 70 兆 6,886 億円と前年(12.2%増)から伸び率がさらに鈍化した。これは、輸入額の 34%を占める原油、石油、液化天然ガス等鉱物性燃料(10.4%増)、約 12%の通信機等電気機器(5.6%増)が増加する一方で、約 8%の鉄鋼等原料別製品(9.3%減)、約 7%の鉄鉱石等原料品(9.5%減)が大幅に減少したためである。

この結果、平成 23 年の貿易収支は 6 兆 9,411 億円の赤字となり、過去最大となった(昭和 55 年 2.7 兆円赤字)。

図表 1. 全商品・機械貿易動向(年)

		円建(億円)				ドル建(百万ドル)				対H19年 (円建)比
		平成23年	伸び率	平成24年	伸び率	平成23年	伸び率	平成24年	伸び率	
輸出	全商品	655,551	▲ 2.7	637,476	▲ 2.7	820,902	7.0	801,274	▲ 2.4	0.76
	機械	423,110	▲ 3.9	418,837	▲ 1.0	530,070	5.8	526,526	▲ 0.7	0.73
	シェア	65%		66%						
輸入	全商品	680,242	12.2	706,886	3.8	851,996	23.5	887,865	4.2	0.97
	機械	160,808	0.9	171,882	6.8	201,407	11.0	216,090	7.2	0.86
	シェア	24%		24%						
収支	全商品	-24,690	▲ 136.3	-69,411	181.1	-31,093	▲ 140.1	-85,591	178.5	-0.64
	機械	262,301	▲ 6.5	246,955	▲ 5.8	328,663	2.9	310,436	▲ 5.5	0.66
	シェア									

2. 機械貿易動向

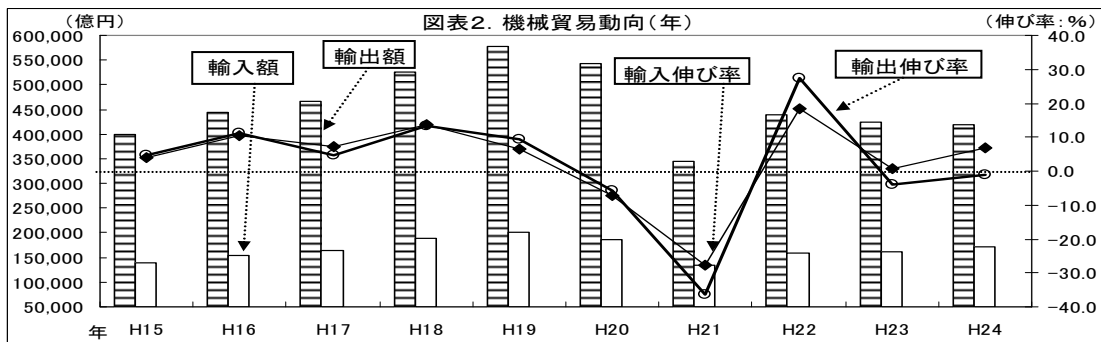
(1) 機械輸出入動向～輸出は 2 年連続マイナス、輸入は 3 年連続プラス

全商品輸出額の 66%を占める機械輸出額は、昨年に比べ、1.0%減の 41 兆 8,837 億円と減少幅が縮小したものの 2 年連続でマイナスとなった。この間、為替は、対ドル年平均レート 79.5 円で前年比 0.6%、対ユーロ同 102.2 円で 8.2%の円高となり、円建輸出額を約 0.4%縮小させる要因となった。この結果、平成 23 年の機械輸出額をリーマンショック以前の平成 19 年の輸出額と比較すると 73%の水準である。

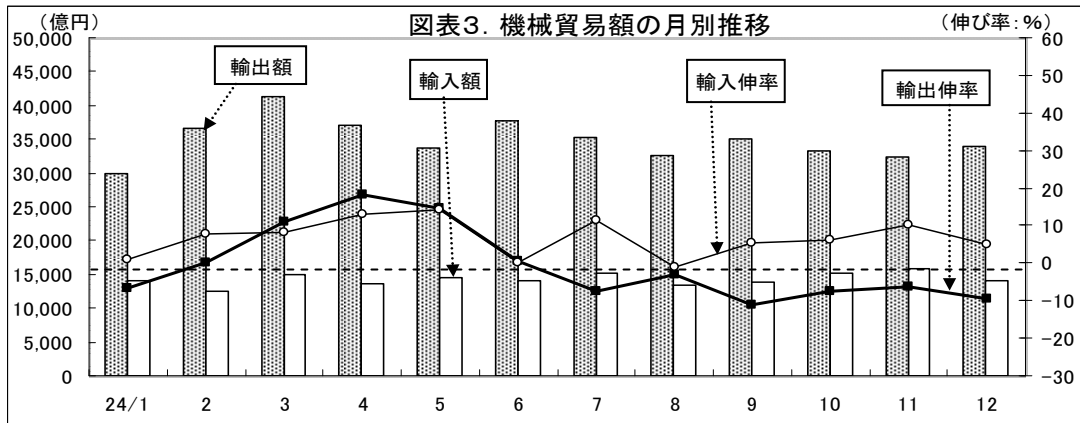
月別では、6 月までは東日本大震災の反動から伸び率はプラスとなっていたが、7 月以降 11 月まで超円高や欧州経済の低迷、中国の不買運動などから、再びマイナス基調となった。

全商品の 24%を占める機械輸入額は、6.8%増の 17 兆 1,882 億円とプラス幅が拡大し(平成 23 年 0.9%増)、3 年連続のプラスとなり、平成 19 年比では 86%の水準となった。

この結果、機械貿易収支は約 24.7 兆円の黒字となっている。



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
対ドルレート(円)	108.3	109.6	116.2	118	104.3	93.5	88.1	80.0	79.5
円高(+)(%)	+7.0	-1.2	-6.0	-1.5	+11.6	+10.4	+5.8	+9.2	+0.6



(2) 地域別輸出動向～EU、中国が大幅減となる一方、北米が大幅増となり、全体で1%減～

機械輸出を地域的にみると、①機械輸出の約23%を占める**北米向け**は、同国向け輸出額の約48%を占める自動車(21.2%増)、建設機械(35.1%増)、重電気機械(27.1%増)が大幅増となり**14.0%増**となった。②約21%の**その他地域向け**は、中南米(3.8%減)、ロシア東欧等(2.6%減)、アフリカ(2.0%減)がマイナスとなる一方、中近東(18.5%増)、大洋州(12.7%増)向けが大幅増となり、**2.3%増**となった。③約29%を占め、最大輸出地域である**NIES/ASEAN 向け**は、シンガポール(7.4%減)、台湾(10.3%減)、韓国(7.4%減)、香港(4.2%減)のNIESがマイナスである一方、タイ(26.6%増)、インドネシア(16.6%増)、フィリピン(13.4%増)、ベトナム(21.2%増)等向けが大幅にプラスとなり、機種別では、自動車、風水力機械等産業機械、重電気機械等が増加し、**1.7%増**となった。

④一方、約17%を占める**中国向け**は、自動車(12.8%減)、半導体製造装置等産業機械(22.8%減)、重電気機械(14.6%減)、白物家電等軽電気機械(14.1%減)等が大幅に減少し、**13.9%減**となった。

⑤約11%を占める**EU 向け**は、全体の約1/3を占める自動車(17.6%減)、産業機械(16.8%減)、白物家電等軽電気機械(25.9%減)等が大幅にマイナスとなり、**16.1%減**となった。

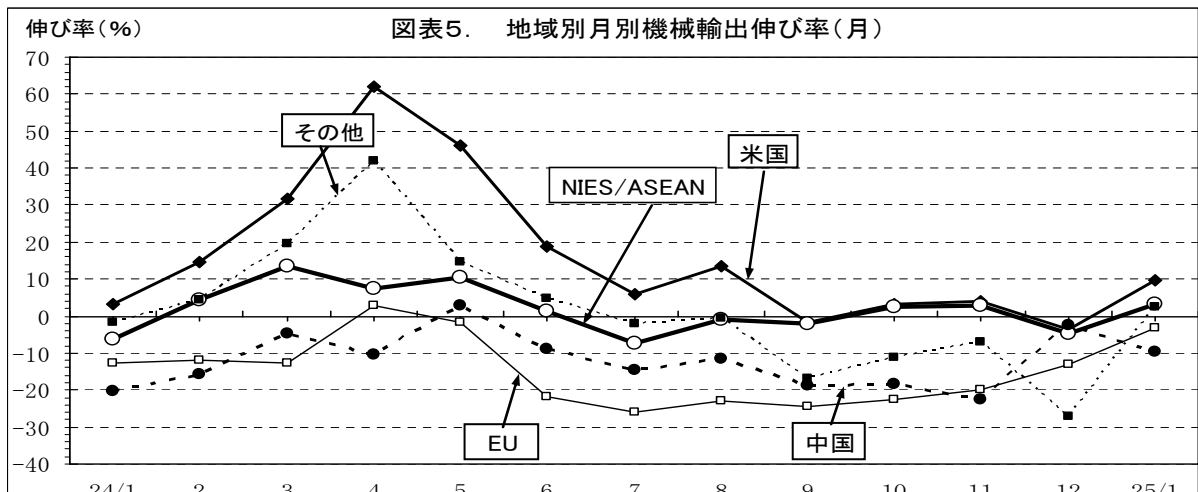
各地域をリーマンショック前の平成19年と比較すると、全ての地域で水準を下回り、中国向けが90%台、NIES/ASEAN 向けが80%台、北米、その他地域向けが70%台、EU 向けが40%台となっている。

図表4. 地域別機械輸出動向(年)

(単位:億円)

	平成22年			平成23年			平成24年			対H19 年比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	440,101	27.4	100.0	423,110	▲ 3.9	100	418,837	▲ 1.0	100.0	0.73
北米	87,435	19.7	19.9	84,158	▲ 3.6	19.89	95,936	▲ 14.0	22.9	0.70
EU	54,521	14.3	12.4	54,388	▲ 0.2	12.85	45,648	▲ 16.1	10.9	0.48
NIES/ASEAN	128,113	32.7	29.1	117,224	▲ 8.5	27.71	119,169	▲ 1.7	28.5	0.81
中国	80,292	37.9	18.2	80,623	0.4	19.05	69,411	▲ 13.9	16.6	0.95
その他	89,740	28.4	20.4	86,717	▲ 3.5	20.5	88,673	▲ 2.3	21.2	0.72

▲は、前年比10%以上の増加



(3)業種別輸出動向～19業種中14業種が前年比マイナス、自動車は大幅回復～

平成24年は全19業種のうち14業種がマイナスと前年より4業種増加した。全体の33%を占める自動車は9.8%増と大幅回復に転じたものの、17%を占める産業機械(9.1%減)、電子デバイス(6.2%減)、軽電気機械(9.0%減)の大型業種がマイナスとなり、船舶(14.8%減)、電子計算機(9.9%減)、ベアリング(10.7%減)、陸用内燃機(13.5%減)、繊維機械(23.2%減)はほぼ二桁の落込みとなった。

他方、大幅に増加したのは自動車のほか、工作機械(10.3%増)で、そのほかプラスとなったのは分析・試験・検査機等軽機械(3.2%増)と医療機械(0.5%増)であった。

これをリーマンショック以前の平成19年と比べると、リーマンショック以前の水準を超えたのは医療機械、工作機械、ベアリングの3機種で、電子計算機、通信機械、民生用電子機械、産業車両は、30～50%台である。

図表6. 上位19業種の輸出額の動き(年) (単位:億円)

平成22年				平成23年				平成24年				対H19年比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	138,278	34.1	31.4	自動車	126,882	▲ 8.2	30.0	自動車	139,321	9.8	33.3	0.70
産業機械	76,979	33.6	17.5	産業機械	78,247	▲ 1.7	18.5	産業機械	71,136	▲ 9.1	17.0	0.80
電子デバイス	41,090	21.3	9.3	電子デバイス	35,250	▲ 14.3	8.3	電子デバイス	33,074	▲ 6.2	7.9	0.63
船舶	25,415	12.3	5.8	軽電気機械	23,466	▲ 3.4	5.5	軽電気機械	21,349	▲ 9.0	5.1	0.69
軽電気機械	24,305	28.4	5.5	船舶	23,439	▲ 7.8	5.5	重電気機械	20,931	▲ 1.3	5.0	0.83
民生用電子機械	23,747	6.8	5.4	重電気機械	21,215	▲ 1.2	5.0	船舶	19,960	▲ 14.8	4.8	0.93
重電気機械	21,512	21.2	4.9	民生用電子機械	20,139	▲ 15.2	4.8	民生用電子機械	19,931	▲ 1.0	4.8	0.49
光学機械	14,510	34.2	3.3	光学機械	15,445	6.5	3.7	軽機械	15,578	3.2	3.7	0.73
軽機械	14,321	28.0	3.3	軽機械	15,097	5.4	3.6	光学機械	15,064	▲ 2.5	3.6	1.03
建設機械	11,778	76.9	2.7	建設機械	13,632	15.7	3.2	建設機械	13,037	▲ 4.4	3.1	0.78
電子計算機	6,847	▲ 2.6	1.6	工作機械	9,452	38.8	2.2	工作機械	10,423	10.3	2.5	1.06
工作機械	6,809	87.7	1.5	通信機械	5,606	▲ 13.8	1.3	通信機械	5,094	▲ 8.8	1.2	0.45
通信機械	6,502	▲ 13.5	1.5	電子計算機	5,315	▲ 22.4	1.3	電子計算機	4,786	▲ 9.9	1.1	0.33
ベアリング	4,191	50.7	1.0	陸用内燃機	4,695	13.7	1.1	ベアリング	4,164	▲ 10.7	1.0	1.05
陸用内燃機	4,131	62.2	0.9	ベアリング	4,663	11.3	1.1	陸用内燃機	4,060	▲ 13.5	1.0	0.87
医療機械	3,868	5.5	0.9	医療機械	3,710	▲ 4.0	0.9	医療機械	3,727	0.5	0.9	1.14
繊維機械	2,226	92.9	0.5	繊維機械	2,442	9.7	0.6	繊維機械	1,876	▲ 23.2	0.4	0.60
農業機械	1,896	15.7	0.4	農業機械	1,717	▲ 9.5	0.4	農業機械	1,717	0.0	0.4	0.73
産業車両	1,408	51.1	0.3	産業車両	1,550	10.1	0.4	産業車両	1,445	▲ 6.7	0.3	0.59
19業種合計	429,813		97.7	19業種合計	411,962		97.4	19業種合計	406,673		97.1	0.72

前年比10%以上の増加

(4)機械輸入動向～全地域がプラス、携帯電話、乗用車が大幅増～

平成24年の機械輸入額は、6.8%増と昨年(0.9%増)から伸び率を大幅に拡大させ、3年連続のプラスとなった。地域別では、機械輸入額の42%を占める中国からの輸入が7.5%増となったのをはじめ、NIES/ASEAN、米国、EU、その他地域と全地域がプラスとなった。

機種別では、二大輸入機種の電子計算機(10.6%増)、電子デバイス(0.8%増)がプラスに転じ、携帯電話(52.1%増)、乗用車(23.7%増)、自動車部品(15.5%増)、時計(16.6%増)が大幅増となった。一方、マイナスとなったのはTV(51.6%減)、風水力機械(0.8%減)の2機種のみであった。

なお、輸入額が輸出額を上回ったのは、昨年同様、電子計算機、携帯電話、テレビ、白物家電、録画・再生機器、医療機器、時計、ラジオ、写真機である。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年) (単位:億円)

平成22年				平成23年				平成24年			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	21,184	21.8	13.3	電子計算機	19,377	▲ 3.2	12.0	電子計算機	19,498	0.6	11.3
電子計算機	20,003	18.9	12.6	電子デバイス	17,406	▲ 17.9	10.8	電子デバイス	17,551	0.8	10.2
重電気機械	7,375	15.3	4.6	重電気機械	7,884	6.7	4.9	携帯電話	11,253	52.1	6.5
自動車部品	7,328	35.7	4.6	携帯電話	7,396	65.4	4.6	乗用車	8,682	23.7	5.1
TV	5,926	109.5	3.7	自動車部品	7,071	▲ 3.9	4.4	自動車部品	8,234	15.5	4.8
民生用電気機器	5,735	9.2	3.6	乗用車	7,019	24.6	4.4	民生用電気機械	6,903	8.1	4.0
乗用車	5,633	31.9	3.5	民生用電気機器	6,385	11.3	4.0	医療機械	5,740	8.1	3.3
医療機器	5,142	10.9	3.2	TV	5,504	▲ 7.1	3.4	光学機械	4,010	1	2.3
携帯電話	4,472	55.5	2.8	医療機器	5,230	1.7	3.3	民生用電子部品	3,635	2.6	2.1
民生用電子部品	4,303	20.0	2.7	光学機械	3,971	2.2	2.5	分析・試験・検査機	3,302	3.1	1.9
光学機械	3,881	16.7	2.4	民生用電子部品	3,538	▲ 17.8	2.2	TV	2,662	-51.6	1.5
航空機	3,670	▲ 18.0	2.3	分析試験検査機	3,201	1.0	2.0	風水力機械	2,646	-0.8	1.5
分析試験検査機	3,168	20.4	2.0	航空機	2,895	▲ 21.1	1.8	時計	2,442	16.6	1.4
13機種合計	97,820		61.4	13機種合計	96,877		60.2	13機種合計	96,558		56.2

前年比10%以上の増加。 民生用電気機器・白物家電